

やまねっとほーむを知ろう

南林間にあるやまねっとほーむ林間。駅から歩いて5分ほどのところにあります。
1階5名2階5名の合わせて10名の方が暮らしています。



「やまねっとほーむ林間」は、平成25年3月1日にオープンした知的障がい者のグループホームです。（身体の障がいも重複している方もいます。）

“やまねっと”の作業所に通っている利用者の皆様から、生活の場（グループホーム）を作ってほしいとの強い要望があり、“やまねっと”としては初めてのグループホームの誕生となりました。

建物は延床面積が約100坪の木造2階建てで、1階5名、2階5名の合わせて10名の方が生活しています。大家さんのご厚意により、一般的なグループホームに比べるととても広く作って頂き、リビング兼食堂は約19畳もあり、廊下や階段、トイレも広く車イスも余裕をもって通ることが出来ます。本当に感謝をしております。

支援をする職員の配置ですが、1年365日毎日、1階と2階に一人ずつ宿泊の職員がおり、夕方の時間帯には食事作りを中心に、もう一人ずつ支援の職員が配置されています。また、必要に応じて各作業所から、入浴支援などの職員の応援も頂いております。

グループホームは入所施設と違い、入居者ひとり一人のプライベートな空間（居室）と時間（基本的には入浴や食事、就寝時間、起床時間等が自由）と行動（外出や外泊等の自由）が確保されている点が特徴です。ただ、共同生活ですので当然、他の入居者の生活に影響を与えないように生活のルールがあります。そして、“自分で出来る事は自分でする”ことがグループホームの基本で、苦手なことや難しいことなどを支援員が支援することになります。

「やまねっとほーむ林間」に入居されている方は、比較的支援度が高い方が多いので、食事の提供はもちろんです。ほとんどの方が入浴支援、洗面、歯みがき、洗濯、衣類の整理整頓、居室の掃除、小遣いなどお金の管理、健康管理（通院介助）などの生活全般の支援を受けています。

休日や祝日などの過ごし方については、日中の支援を行うために1階と2階に一人ずつ職員が配置されていますが、ひとり一人の余暇の過ごし方を充実させるために移動支援のヘルパーを利用する方が増えてきています。

ホームが出来てから2年半が経ちますが、入居者ひとり一人がホームでの生活を実感し、順応してその人のペースで生活を送っています。これからも入居者ひとり一人の個性と、その人にあった生活のスタイルを尊重して、穏やかに安心して暮らす生活の場を提供できるように努めていきたいと思っています。（細川）

ホームの1日



① 帰宅

16時～16時30分みなさんホームに帰宅します。送迎車や自分で帰る人もまちまちです。



④ 自由時間

リビングでテレビを見たり、自室でくつろいでいます。

⑤ 就寝

おつかれさまでした。

夕食後のひととき



② 入浴

夕食前に入る人、後に入る人。個人のペースで入浴しています。



③ 夕食

18時。1階と2階それぞれで食べます。写真は1階の食事風景。この日は手作り餃子パーティーでした！



⑥ 朝食

各階でいただきます。その後は通所準備。

⑦ 出勤

8時30分～9時に出勤元気に出発します。

